

長谷工グループの経営資源

分譲マンションを主軸とし、土地情報の収集や事業立案、近隣折衝・許認可取得から設計・施工を中心に展開。グループ会社で周辺領域の事業を展開しています。6つの資本を拡充し、企業価値の向上を目指してまいります。



人的資本

● 人的資産への投資・活用を通して、企業価値の更なる向上を目指すという理念のもと、グループの新境地を切り拓いていく自律型の人材・組織づくりを追求するとともに当社独自の働き方改革・ダイバーシティの進化を目指しています。

- グループ連結従業員 7,829人
- 資格取得数 6,149人
 - 一級建築士 749人
 - 1級建築施工管理技士 1,259人
 - 宅地建物取引士 3,132人
 - 管理業務主任者 1,009人
- PET-CT検診(がん検診)受診率 80.0%
(受診2,039人/対象2,550人、対象年齢45歳及び50~64歳)
全額会社負担で実施



知的資本

● 当社の強みである土地持ち込みによる特命受注方式は、一般的なゼネコンの受注方式とは一線を画し、優位性の高いビジネスモデルとなっております。

- 長きにわたって人々の暮らしを支える生活基盤である「マンション」を作り続け、施工累計は70万戸を超えました。国内1位のマンション施工実績に培われた施工ノウハウで高い施工品質が確保されています。
- 2023年度の研究開発費 38.2億円
- 保有特許件数 265件
(特許202件、意匠58件、実案件数5件)



ものづくり資本

● LIPS(東京都江東区及び大阪市中央区)は、実物見本を「見て」「触れる」ことによって商品や部材の選定をスピーディーかつ確実にを行うプレゼンテーションルームです。外装材、建築金物、鋼製建具、内装材、設備機器など約70メーカーの商品を常時展示しています。企画設計・仕様設定などの具体的な提案、新技術、新商品の発信等の拠点として主に事業主様向けに活用しています。

● 長谷工テクニカルセンター(多摩市)は、2018年3月、長谷工グループの創業80周年記念事業の一環として竣工しました。グループの技術関連機能である「長谷工技術研究所」「長谷工グループ技術研修センター」「長谷工コミュニティウル24センター」を集約し、さらに「長谷工マンションミュージアム」を併設しました。実際にお住まいの方の目線に立った安全・安心・快適に住まうための研究・技術開発を行うとともに、広くマンション事業主や行政、管理組合などのお客様に向けて、新技術・新商品・技術検証などの情報を発信しています。

- 国内主要拠点 43か所
- グループ会社数 84社
- 海外拠点数 3拠点
- プレキャスト製造拠点(建設中)



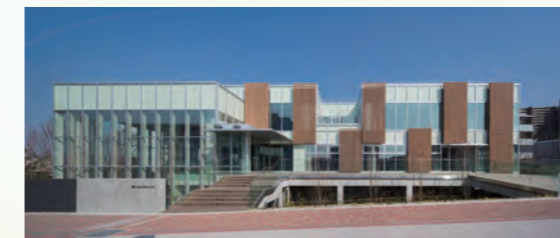
長谷工マンションミュージアム



社会関係資本

● 約300社の主力協力会社からなる組織「建栄会」と、当社の「建設部門」「設計部門」「技術推進部門」は四位一体の体制で品質向上活動に取り組んでいます。当社と建栄会は四半世紀にわたる強い信頼関係で結ばれており、この「四位一体」の品質管理体制が他社では見られない強みとなっています。

- 自社開発マンションを2022年度以降全てZEH-M Oriented化
 - マンション施工実績 708,000戸(累計)
 - 協力会社から成る「建栄会」 約300社
 - 長谷工プレミアムアフターサービス 累計 約12万戸



長谷工マンションミュージアム



プレゼンテーションルームLIPS内観



自然資本

● 自然資本の消費を抑えた事業活動を目指して、長谷工コーポレーションの建設現場において使用電力の100%再生可能エネルギー化を2023年5月末に完了いたしました。



財務資本

● NS計画の重点戦略と位置付けたコア事業の競争力の強化や不動産関連事業の投資拡大、将来の成長に向けた取り組みについて、成長戦略投資を行っています。

● 利益向上と事業拡大を目指しつつ、資本効率性をより一層重視し、株価を意識した経営に努めてまいります。資本効率性を高めるべく、具体的に不動産関連事業の回転率を上げる経営管理を行っています。

- 総資産 1兆3,512億円
- 自己資本 5,112億円



長谷工技術研究所 構造実験エリア